


新春 関東研究集会のお知らせ



2学期も残りわずかとなってきました。新型コロナウイルス感染症がこれまでの仕組みにゆさぶりを与えた約2年間、学校現場ではどのような実践を行い、また課題に直面されてきたでしょうか。先行きが不透明で答えが見えない今こそ、多くの先生がより授業を充実させていきたいと模索されているのではないかと思います。

わたしたちの考える「問題解決学習」は、解法や答えが分かれば終わる問題に取り組む学習ではありません。その問題を考えることを通して、未来に生きる子どもたちが、社会のよりよい担い手・創り手となるために、「自ら考え、互いを尊重し、建設的な話し合いをする中で、問題を解決していく解(価値)を生み出していくこと」を目指したものです。

これは、現学習指導要領で述べられている「主体的、対話的な学び」を実現するものでもあると考えます。

さらに、そうした学びが生まれるための対話は、授業と学級経営とのつながりを大切にすることが土台になっており、子どもの姿を通してそれぞれのあり方を考えていくことが、「子どもたちとともに学びをつくる」教師の大切な役割ではないでしょうか。

今回の関東新春集会では、二人の教師の実践を通して、子どもたち一人ひとりの成長につながる授業づくりの可能性を考えていきたいと思えます。一人はまさに現在、子どもたちとともに学びを創っている私たちの仲間です。もう一人は、実践を積み上げてきた先輩です。そして、どちらも「子どもたちとともに学びをつくる」ということを大事に実践されてきた方です。ぜひ、「子どもたちとともに学びをつくる」ということについて、ともに考えてみませんか？

ご参加をお待ちしています。

◆集会テーマ（4年目）

子どもの成長に結ぶ授業の創造 ―今、私たちが大切にすべきこと―

◆テーマについて

子どもは「どうなっているのだろう・・・」「このことはどう考えたらいいのか・・・」というような、自らの興味・関心に基づいた問題が成立すると、思考力、判断力、表現力を存分に発揮して追究し、必要な知識・技能を手にしていきます。それは、子どもが自ら知識を創造する過程でもあり、問題解決学習による学びによって、その成長が実現された姿ということが出来ます。

そしてこの問題解決学習は、私たちが大切にする初期社会科の精神を体現したものでもありますが、現在の学習指導要領で目指される「使える知識」や「思考力判断力表現力等」「学びに向かう力」などを一人一人の子どもが身につけていくためにも重視されるべきものといえます。

一方で、現在の指導要領は私たちに学習内容の高度化と増量を求めてもきています。教育現場の負担増は、私たちが子どもの成長に寄与するであろう問題解決学習を実践する余裕を少なくしていきます。そうした中で、何を大切に、教育に取り組むべきか。今、私たちは、そのことを改めて考える必要があります。

関東研究部では、このテーマを掲げての4年目、今、学校現場ではどのように進んでいるでしょうか。そうしたことも実践を通して、皆様と語り合う場にしたいと考えています。

◆日時

2022年1月23日(日)9:00～15:00 (ZOOM開催) (無料)

◆授業提案

提案者 菊地 麻紀 (公立小学校)

「子どもが自律的に学ぶ力をつける授業」をめざして

～小3社会科「店ではたらく人の仕事」～

友達の発言に対して「おー。なるほど。いいね。納得。」など素直に驚きや共感のつぶやきをするF児。しかし、友達からはF児のよさがなかなか認められず、反対にトラブルになってしまうこともあります。また、ノートを書くことや課題に対する取り組み方にも、担任として気になる様子が見られます。そんなF児が、今回のお店の単元では自分が見学してきたスーパーマーケットの売り場の写真や気付きを自主学习帳に6ページも書いてきました。

本実践は、そうしたF児の追究力や表現力を褒めて授業に活かし、質疑応答で級友と関わ合うことを通して本児のよさを広めようと思い進めました。そしてF児には、家族や友達から認められ、学ぶことや自分の目標のために頑張ることが楽しいと実感してほしいと願いをかけました。

子どもが自律的に学ぶ力をつけるために、子どもが主体的に追究して自主学习や授業に取り組み、子ども達同士が授業で心を通わせることができる実践がしたいと常々思っています。今回の販売の仕事の単元では、コロナ感染症対策のため一斉に見学に行けませんでした。多くの子どもが家族と一緒に近くのスーパーマーケットに買い物へ行っており、子どもの日常生活と学習はつなげやすい単元でした。

F児のよさが生き、今年度の単元の特徴も踏まえた中で、自律的に学ぶ力をつけていくためには、どうすることがよかったのか、ご参会の皆さんと考えていきたいです。

◆シンポジウム

「学級経営と授業」

～子どもの発言をどう受け止めるか～授業づくりと児童理解

#学級経営 #学級経営と授業づくり #記録の読み方 #問題解決学習 #初志の会の目指す子どもの姿 #記録から学ぶ #願いをかける #気になる子ども

・司会

西川 健二先生 (関東学院大学)

・パネリスト

保科 登喜子先生 (東京都公立学校)

小田部 香奈子先生 (神奈川県公立学校)

小川 威先生 (神奈川県公立学校)

比嘉 将来先生 (神奈川県公立学校)

◆時程

09:00～	受付	13:00～14:45	シンポジウム
09:30～09:50	開会行事	14:45～15:00	閉会行事
09:50～10:15	提案		
10:15～12:00	実践検討		
12:00～13:00	昼食		



◆申し込み・資料

申し込みは、右記 QR コードを読み取り、お手続きをお願いします。

(もしうまくつながらない場合は、下記まで問い合わせください。)

なお、資料は後日、①メールにて添付するか、②後日お知らせする URL からダウンロードして頂きます。

(②推奨)

郵送をご希望の場合は、申し込みフォームからお知らせください。

(会運営の関係上、早めの申し込みをお願いいたします)

(URL の送付は 1 週間前を予定しています)

◆問い合わせ先

岸野存宏 (Mail: kishino☆u-gakugei.ac.jp) ☆を@に 勤務先: 東京学芸大学附属世田谷小学校